



津山工業高等専門学校校報

第 1 7 1 号

令和 8 年 4 月 3 0 日発行

(令和 7 年 1 2 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日)

目 次

校内諸規則

◎津山工業高等専門学校学則の一部改正	2
◎津山工業高等専門学校名誉教授称号授与規程の一部改正	2
◎津山工業高等専門学校教職員安全衛生管理規程の一部改正	2
◎津山工業高等専門学校の学業成績の評価並びに各学年の課程修了及び卒業の認定に 関する規程の一部改正	3
◎津山工業高等専門学校数理・データサイエンス・A I 教育プログラムの実施に 関する規程の一部改正	3
◎津山工業高等専門学校公開講座規程の一部改正	3
◎津山工業高等専門学校全学共同利用スペースに関する規程の一部改正	3
◎津山工業高等専門学校の学業成績の評価並びに各学年の課程修了及び卒業の認定に 関する規程「別に定めるもの」の運用に関する内規の一部改正	3

人事異動	4
------	---

主要日誌	5
------	---

諸 報

○タイ王国プリンセスチュラポーンサイエンスハイスクール科学技術研修	6
○先端技術特別講義	7
○津山高専技術交流プラザ企業P R 会	7
○入寮説明会	7
○高専フェスin岡山	7
○クリスマスイベント (After School English)	8
○ブックハンティング	8
○津山市「Welcome to Tsuyama留学生・サポート事業」	8
○有識者懇話会	8
○第 2 回グローバルエンジニア養成のための講演会	8
○タイ政府奨学金留学生の津山市長表敬訪問	8
○津山商工会議所・津山高専技術交流プラザ合同開催「研究内容発表会・施設紹介」	9
○第60回全国高等専門学校体育大会・第56回全国高専ラグビーフットボール大会	9
○寮生集会	9
○寮生スポーツ大会	9
○本校教員によるオランダ駐在体験談聴講会	9
○推薦入学者選抜試験	9
○韓国出身留学生によるマナー講座	9
○After School English (1/16)	10
○第19回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト	10
○nano tech 2026出展	10
○第 1 回F D研修会	10
○学生アンバサダー第 2 回全体会議	10

○退寮説明会	11
○学力入学者選抜試験	11
○学生アンバサダー・リーダー研修会	11
○津山高専技術交流プラザ・津山商工会議所・津山ステンレス・メタルクラスター 合同産学連携交流会	11
○第2回FD研修会	11
○入学説明会，入学手続き	11
○タイ高専チューター研修	12
○中国地区高専第33回コンピュータフェスティバル	12
○寮生会活動報告会・北辰寮後援会役員会	12
○卒業式・専攻科修了式	12
○第4ブロック留学生担当教職員会議	12
○トビタテ！留学JAPAN新日本代表プログラム（イタリア）	13
○シンガポール科学技術研修	13
○永進専門大学校語学研修	13
○津山圏域工業会令和7年度奨学寄附金贈呈式	13
○退職者に係る永年勤続者表彰式及び感謝状贈呈式，名誉教授称号記授与式	13
○退任式・離任式	14
○科学研究費	14
○受託研究	14
○共同研究	14
○寄附金	14

校内諸規則

◎ 津山工業高等専門学校学則の一部改正

- 1 制定・改正番号 学則第1号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校学則
- 3 制定・改正年月日 令和8年3月23日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 高度情報専門人材育成事業に対応した内容に改正する。

◎ 津山工業高等専門学校名誉教授称号授与規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第1号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校名誉教授称号授与規程
- 3 制定・改正年月日 令和8年3月10日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 個人情報保護の観点から名誉教授称号記の書式から本籍地を削除する。

◎ 津山工業高等専門学校教職員安全衛生管理規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第2号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校教職員安全衛生管理規程
- 3 制定・改正年月日 令和8年3月23日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉

- 5 制定・改正理由 独立行政法人国立高等専門学校機構教職員安全衛生管理規則の一部改正で配置することとされた「化学物質管理者」「保護具着用管理責任者」について、それらを置くことの条項を追加する。また、上記機構規則の一部改正において、熱中症を生ずるおそれのある作業に関する条項が追加されたため、本校規程においても条項を追加する。併せて、実習工場の設備や作業内容の実態に即した内容に改正する。

◎ 津山工業高等専門学校^{（注）}の学業成績の評価並びに各学年の課程修了及び卒業の認定に関する規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第 3 号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校の学業成績の評価並びに各学年の課程修了及び卒業の認定に関する規程
- 3 制定・改正年月日 令和 8 年 3 月 23 日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 令和 8 年度以降入学生^{（注）}の教育課程への対応のため。

◎ 津山工業高等専門学校数理・データサイエンス・A I 教育プログラムの実施に関する規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第 4 号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校数理・データサイエンス・A I 教育プログラムの実施に関する規程
- 3 制定・改正年月日 令和 8 年 3 月 23 日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 MDASH 応用基礎レベルへの対応のため。

◎ 津山工業高等専門学校公開講座規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第 5 号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校公開講座規程
- 3 制定・改正年月日 令和 8 年 3 月 23 日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 公開講座の現状に即した条文とするため。

◎ 津山工業高等専門学校全学共同利用スペースに関する規程の一部改正

- 1 制定・改正番号 規程第 6 号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校全学共同利用スペースに関する規程
- 3 制定・改正年月日 令和 8 年 3 月 23 日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 全学共同利用スペースに追加があったため。

◎ 津山工業高等専門学校の学業成績の評価並びに各学年の課程修了及び卒業の認定に関する規程「別に定めるもの」の運用に関する内規の一部改正

- 1 制定・改正番号 内規第 1 号
- 2 規程・内規の名称 津山工業高等専門学校の学業成績の評価並びに各学年の課程修了及び卒業の認定に関する規程「別に定めるもの」の運用に関する内規
- 3 制定・改正年月日 令和 8 年 3 月 23 日
- 4 制定・改正者 津山工業高等専門学校長 佐藤貴哉
- 5 制定・改正理由 令和 8 年度以降入学生^{（注）}の教育課程への対応のため。

人事異動

校内のみ

校内のみ

主要日誌

12月 2 日	教務委員会，学生生活委員会，入寮説明会（通学生向け（後期））
3 日	入学試験委員会，情報セキュリティ推進委員会
4 日	入寮説明会
5 日	第2回単位認定試験
7 日	高専フェスin岡山
8 日	企画会議
9 日	運営会議
10日	寮一斉清掃
12日	第2回単位認定試験
12日～16日	臨時教務委員会（電子会議）
12日～17日	国際交流センター運営委員会（電子会議）
16日	第2回単位認定試験
16日～23日	教育システム点検委員会（メール会議）
18日	寮務委員会
23日	4年生TOEIC-IP試験
24日	学校運営評価委員会
24日～25日	臨時学生生活委員会（電子会議）
25日	専攻科運営委員会
26日	閉寮・閉寮点検
26日～1月6日	冬季休業
26日～1月14日	安全衛生委員会（メール会議）
1月 4日～9日	第60回全国高等専門学校体育大会・第56回全国高専ラグビーフットボール大会
6 日	開寮
7 日	寮生集会
8 日	交換寮生報告会
8日～9日	寮生スポーツ大会
9 日	臨時寮務委員会
14日	推薦入学者選抜試験（本試験），情報セキュリティ推進委員会
16日	入学試験委員会
20日	3年生TOEIC-IP試験，教務委員会，学生生活委員会
20日～22日	国際交流センター運営委員会（電子会議）
20日～27日	安全衛生委員会（メール会議）
21日	推薦入学合格内定者発表
22日	寮務委員会
24日～25日	第19回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト
26日	企画会議
27日	運営会議，本科・専攻科補講日
28日	生命倫理委員会
28日～2月3日	本科・専攻科後期末試験
29日	臨時学生生活委員会
30日	国際交流センター運営委員会

2月2日～4日	臨時学生生活委員会（電子会議）
3日	教員会議，FD研修会，施設整備検討委員会
5日	寮一斉清掃・退寮説明会
8日	学力入学者選抜試験（本試験）
9日	企画会議
10日	教務委員会，学生生活委員会，生命倫理委員会
12日	専攻科情報交換会，寮務委員会
16日	入学試験委員会
16日～19日	国際交流センター運営委員会（電子会議）
16日～20日	特別補習期間
17日	運営会議，FD研修会
17日～24日	安全衛生委員会（メール会議）
18日	情報セキュリティ推進委員会
18日～20日	臨時教務委員会（メール会議）
19日	入学者選抜試験合格者発表
20日	専攻科運営委員会，地域共同テクノセンター運営委員会，臨時寮務委員会
24日	企画会議
24日～3月13日	特別教育期間
26日～3月3日	地域共同テクノセンター運営委員会（メール会議）
27日～3月6日	組換えDNA実験安全管理委員会（メール会議）
3月1日	入学手続会（1回目），令和7年度後援会役員会
2日	教員会議，卒業判定会議，進級判定会議（1年生） 専攻科運営委員会（修了判定，技術者教育プログラム修了確認を含む）
3日	教務委員会
7日～8日	中国地区高専第33回コンピュータフェスティバル
8日	寮生会活動報告会・北辰寮後援会役員会・寮務委員会・閉寮・閉寮点検
9日	学生生活委員会
10日	企画会議，教員会議，進級判定会議（2～4年生），基金管理委員会
10日～17日	教育システム点検委員会（メール会議）
11日	教務委員会，国際交流センター運営委員会
11日～16日	専攻科運営委員会（電子会議），臨時寮務委員会（メール会議）
13日	卒業式・専攻科修了式
16日～31日	学年末休業
17日	安全衛生委員会
18日	運営会議
19日	入学手続会（2回目），情報セキュリティ推進委員会
24日～26日	専攻科運営委員会（電子会議）
24日～31日	研究推進委員会（メール会議）
25日	退職者に係る永年勤続者表彰式，名誉教授称号記授与式，退任式・離任式

諸 報

○タイ王国プリンセスチュラポーンサイエンスハイスクール科学技術研修

11月29日（土）に日本を発ち，タイ王国プリンセスチュラポーンサイエンスハイスクールブリラム校（PCSHS）において科学技術研修に参加した学生が，12月7日（日）に帰国した。

12月2日（火）に開始された研修では，朝礼での英語による自己紹介，バディとの顔合わせや校内探検の後，タイの民族衣装を着用しての伝統舞踊の体験が行われ，また，翌日の研究発表に向け準備が行われた。

翌日開催された国際交流シンポジウムでは，PCSHSと本校の学生がそれぞれ研究発表を行い，互いに質疑応答がされた。

シンポジウムの他、バドミントンによるスポーツ交流、引率教員による科学実験教室が行われ、学生は熱心に取り組みを行った。PCSHSでの研修の後には、バンコク市内の市場や寺院の見学による文化交流が行われ、その後12月7日（日）に参加学生は帰国した。

○先端技術特別講義

12月1日（月）に、専攻科の第5回先端技術特別講義がボランティア・レクチャーとして実施された。内山工業株式会社から2名の方に講師としてお越しいただき、シール部品の設計・製造についてご講演いただいた。

内山工業株式会社 コアテクラボ 主任研究員 石田 浩規 様
内山工業株式会社 生産技術部 製造技術課 主任 郷司 和孝 様

まず、石田様より内山工業株式会社とシール部品の概要そして設計開発方法について説明があった。標準品と特注品の設計方法の違いなど非常に興味深い内容であった。

次に、郷司様から製造技術について説明があった。設計された部品をどのように作るのかは製造業の一丁目一番地であり、そこに様々な努力と工夫があることを改めて認識した。

○津山高専技術交流プラザ企業PR会

12月2日（火）～3日（水）の2日間、岡山県北を中心とした県下の製造業企業などで構成される津山高専技術交流プラザによる「津山高専技術交流プラザ企業PR会」が開催された。

この企業PR会は、学生に地域企業の事業内容や技術を知ってもらい、将来の進路を考えるきっかけを提供することを目的としており、プラザ会員企業から72社が出展した。

会場では、各社の担当者がブースを開設し、事業内容や自社の強みとなる製品・材料・技術を展示品や動画を用いて紹介した。

2日間で延べ317名の学生が参加し、興味のある企業のブースで熱心に説明を聞き入っていた。

○入寮説明会

12月2日（火）及び4日（木）に、来年度の入寮を希望する寮生のため入寮説明会が行われた。

本説明会では寮務主事から寮生へ、来年度の入寮選考にかかる手続きや選考基準の説明、今後の寮生活における注意などが行われた。

○高専フェスin岡山

12月7日（日）に、岡山市の杜の街グレース内にあるOHK KURUN HALLにおいて、津山高専・香川高専共催の「高専フェスin岡山」を開催した。

このイベントは、『高等専門学校（高専）』という教育機関について、小学生・中学生の皆様に広く知っていただくことを目的とし、今年度初めて実施した。

当日は約250名の小中学生と保護者等が参加し、各校による8つの体験ブースを通じて、高専の魅力を体感した。

＜体験ブース内容＞

- ・プラナリアの色々ー再生プラの観察、プラの色付けー（津山高専）
- ・立体地図を使った防災プロジェクションマッピング（津山高専）
- ・小型ドローンを体験！（津山高専）
- ・3Dパーツで作ってみよう！（香川高専：高松キャンパス）
- ・高専×ダ・ヴィンチー未来をつなぐ橋ー（香川高専：高松キャンパス）
- ・ピカッと光★通信ラボ（香川高専：詫間キャンパス）
- ・おもしろ電子工作（香川高専：詫間キャンパス）
- ・冒険で学ぶAI×デジタルアート（香川高専：詫間キャンパス）

また、本校校長と香川高専の教務主事による学校概要の説明や本校の学生による入試問題解説がプレ

ゼンコーナーで行われ、高専の特色や魅力を紹介した。

さらに、個別相談のブースも設けられ、受験に関する疑問や不安を解消する場ともなった。

○クリスマスイベント (After School English)

12月12日（金）に、学生アンバサダー主催によるクリスマスイベントが開催された。

学生アンバサダーによるAfter School Englishの一環として行われた本行事には、岡山大学からミャンマー、ガーナ、フィリピン、カメルーン出身の留学生5名が参加し、5年生の司会進行のもとで、自己紹介やクリスマスのデコレーション制作などを行った。

本校学生が留学生に折り紙を教え、動画を参考にしながら作業をおこなうとともにそれぞれの国のクリスマスの祝い方について質問を交わすなど、交流が行われた。

○ブックハンティング

12月13日（土）に、宮脇書店岡山本店でブックハンティングを行った。

インフルエンザが流行っている関係で、残念ながら学生図書委員会の学生1名のみの参加となったが、教職員2名と一緒に店頭で実際に内容を確認し、学習・研究に役立ちそうな本や小説などを選んだ。

ブックハンティングで選ばれた本は、図書館ブラウジングのブックハンティング・学生希望図書コーナーに並べる。

○津山市「Welcome to Tsuyama留学生・サポート事業」（日本のお正月体験）

12月14日（日）に津山市の実施する「Welcome to Tsuyama留学生・サポート事業」として、NPO法人津山国際交流の会との協働主催による日本のお正月体験に、本校から13名の留学生が参加し、餅つきや餅の調理を通して日本の正月を体験した。

餅は地域の参加者により雑煮として振舞われ、留学生は地域の方と交流しながら餅を味わい、その後、参加者は会場を移動し、ボウリングやそずり鍋を通して交流を深めた。

○有識者懇話会

12月19日（金）に、岡山県内の教育機関・自治体・産業界などから有識者を招き、地域の意見を反映させるため令和7年度津山工業高等専門学校有識者懇話会を開催した。

懇話会では、校長・教務主事などから津山高専の現状と課題の説明があり、次に委員からの質問を受け、意見交換を行い、生成AIの活用や同窓生との繋がり等、津山地域に活力を与えるために学校としてどのようなことが考えられるか、様々な観点から助言・評価を受けた。

これから津山高専が学生や地域に対して何をすべきか、また何を期待されているかについて理解を深める非常に有意義な会となった。

○第2回グローバルエンジニア養成のための講演会

12月22日（月）に、岡山理科大学情報工学部情報理工学科准教授・趙菲菲氏を講師として招き、「第2回グローバルエンジニア養成のための講演会」を開催した。

講演会には、「国際交流Ⅰ」履修学生、春季海外研修の参加を予定している学生等計52名が参加し、「やさしい科学英語」として、講師により物理学の基礎をテーマとした英語の専門用語・表現に関する講演が行われた。

講演会後の学生アンケートでは、参加学生の英語学習に関する前向きな姿勢がみられた。

○タイ政府奨学金留学生の津山市長表敬訪問

12月23日（火）に、本校タイ政府奨学金留学生が、谷口圭三津山市長を表敬訪問した。

タイ政府奨学金留学生2期生のブンさん（専攻科第2学年在籍）、4期生のオームさん、ミウさん（本科5年生在籍）が、それぞれの進路などについて津山市長へ報告を行った。

市長からは、津山市主催行事への参加による国際交流活動への協力に関する謝辞や今後への激励の言葉が述べられ、その後国際交流活動のため同席された田口浩二津山市議会議員を交え、懇談会が行われた。

○津山商工会議所・津山高専技術交流プラザ合同開催「研究内容発表会・施設紹介」

12月23日（火）に、津山商工会議所・津山高専技術交流プラザ合同開催「研究内容発表会・施設紹介」が開催された。

津山高専技術交流プラザ会員企業、津山商工会議所より約20名の来校があり、各系による研究内容の紹介や、化学実験室、生物実験室の見学などプラザ企業、津山商工会議所との連携強化に繋がる非常に有意義なイベントとなった。

○第60回全国高等専門学校体育大会・第56回全国高専ラグビーフットボール大会

1月4日（日）～9日（金）に、神戸ユニバー記念競技場にて開催された第60回全国高等専門学校体育大会・第56回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会において、本校ラグビー部が第3位の成績を収めた。

（結果は以下のとおり）

2回戦 津山高専 43－0 久留米高専（九州沖縄第2代表）

準決勝 津山高専 7－64 奈良高専（近畿代表）

最終成績：第3位

○寮生集会

1月7日（水）に、寮生集会を第二体育館で実施した。

寮生会長及び寮務係から、寮生活における注意事項や今後の連絡事項について説明があった。

また、各委員会の委員長からもそれぞれ連絡事項が伝えられた。

○寮生スポーツ大会

1月8日（木）～9日（金）に、寮生ドッジボール大会が開催された。

各寮棟各階の寮生などでチームを組み、トーナメント戦を行った。お互いに怪我をしないように注意しながらも熱意を持って楽しく大会に臨んでいた。

新年早々に寮生同士での絆を深め、リフレッシュすることができた。

○本校教員によるオランダ駐在体験談聴講会

1月9日（金）に、国際的なコミュニケーション力の向上やグローバルマインドの育成を目的として、先進科学系久保准教授によるオランダ駐在体験談の聴講会を実施した。

聴講会では、同教員がオランダに駐在した1年間のことについて、現地の生活、文化、価値観、日常で直面するトラブル等について、実体験に基づき紹介された。

聴講会を通して、参加学生は海外留学への意欲を高め、国際的な視野を高める機会となった。

○推薦入学者選抜試験

1月14日（水）に、本校及び岡山会場において、令和8年度本科推薦入学者選抜試験を実施し、選抜の結果、1月21日（水）に次のとおり合格内定者を発表した。

志願者数 154名（総合理工学科）

合格内定者 96名（総合理工学科）

○韓国出身留学生によるマナー講座

1月15日（木）に、岡山大学文学部1年のイ・ヒョンミョン氏と同大学法学部法学科1年のユ・スビン氏を講師として招き、「韓国出身留学生によるマナー講座」を開催した。

本講座は、令和7年度春季永進専門学校語学研修で韓国に渡航する学生の事前学習の一環として実施され、国際交流I履修学生を含む約40名の学生が参加した。

講座では、韓国の基本的なマナーや挨拶、韓国と日本の食文化や学生生活について比較しながら紹介された。

参加学生は、講座内容の振り返りクイズ等に積極的に参加し、韓国への関心を高めるきっかけとなった。

○After School English (1/16)

1月16日（金）に、岡山大学からミャンマー、ガーナ、フィリピン、ベトナム出身の留学生5名を招き、「After School English」を開催した。

イベントでは、自己紹介の後1年生の司会進行のもと「イディオムゲーム」として、英語で出題されることわざや慣用語について日本語でどのように表現されるかを答えるゲームが行われ、合間にはフリートーク等を通じて参加学生は交流を行った。

○第19回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

1月24日（土）～25日（日）に、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された第19回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストのチーム部門に、本校1年生3名が出場した。

3名は“How Can We Do It? ~ Pay It Forward in Our Learning”というタイトルでActive Learningについて英語でプレゼンテーションを行った。

本コンテストには、4・5年生の出場者が多い中、1年生ながらも落ち着いた態度で、自分たちの考えを堂々と発表していた。

○nano tech 2026出展

1月28日（水）～30日（金）に、東京ビッグサイトで開催された「nano tech 2026」に出展した。

本展示会は、ナノテクノロジーを軸に未来技術の社会実装を探求する場として、革新的な材料や次世代デバイスが集結するアジア最大規模の国際展示会である。

総来場者数は45,202名（※同時開催展含む）にのぼり、国内外から多くの企業、大学、公的研究機関が出展した。

津山高専は、全国の高専の中で唯一の出展校として、以下の研究内容を紹介した。

- ・ミストCVD法による有機半導体デバイスプロセスの開発（電気電子システム系・香取教授）
- ・卓上型NMR装置を用いた実践的な機器分析の教育（先進科学系・廣木教授）

会期中、本校ブースには約133名の来場者が訪れ、研究内容や教育の取り組みについて多くの関心が寄せられた。

本展示会への出展は、産学官連携の交流を深める貴重な機会となった。今後も教育・研究活動を通じて地域および社会の発展に貢献できるよう取り組んでいく。

○第1回FD研修会

2月3日（火）に、令和7年度第1回FD研修会を開催した。

今回は、「職場における安全衛生」をテーマとし、テーマに関わる事例についての発表が行われた後、質疑応答において活発な意見交換が行われた。

発表内容および講演者

「寒剤の利用に学ぶ安全衛生管理」 先進科学系 廣木 一 亮 教授

○学生アンバサダー第2回全体会議

2月5日（木）に、令和7年度第2回学生アンバサダー全体会議を開催した。

学生アンバサダーは、様々な国際交流活動を学生主体で行うボランティア組織であり、今年度2回となる今回の会議では、学生代表の司会進行のもと、各グループリーダーから今年度の活動報告及び来年度の計画が発表された。

発表の後、学生はグループに分かれ、それぞれ活動状況の共有、来年度の活動へ向けての打ち合わせを行った。

○退寮説明会

2月5日（木）に、退寮説明会を行った。

卒業・修了予定者と退寮希望者に向けて、退寮する際の手続きや注意事項などについて説明があった。

○学力入学者選抜試験

2月8日（日）に、本校及び岡山会場において、令和8年度本科学力入学者選抜試験を実施し、選抜の結果、2月19日（木）に次のとおり合格者を発表した。

志願者数 134名（総合理工学科）

合格者数 100名（総合理工学科）

○学生アンバサダー・リーダー研修会

2月11日（水）に、学生アンバサダー総代表、各グループリーダーを中心として学生アンバサダー・リーダー研修会を実施し、16人の学生が参加した。

研修会では、奈良市の平城京跡歴史公園や奈良公園、東大寺を訪問し、参加学生は見識を広げた。

施設訪問の後、令和6年度学生アンバサダー総代表の鳥取晴南氏（卒業生）を講師とし、在学時のアンバサダー活動や国際交流活動が進路活動や現在の氏自身の学びや生活にどのように生かされているか、後輩に期待することは何か、などについて講演が行われた。

参加学生は、今後の活動について意見交換を行い、鳥取氏のアドバイスを交えながら活動の振り返りや今後アンバサダーとして挑戦したいことを語った。

○津山高専技術交流プラザ・津山商工会議所・津山ステンレス・メタルクラスター合同産学連携交流会

2月13日（金）に、ザ・シロヤマテラス津山別邸において、津山高専技術交流プラザ・津山商工会議所・津山ステンレス・メタルクラスター合同産学連携交流会が開催された。

津山高専教職員及び津山高専技術交流プラザ会員企業、津山商工会議所関係、津山市等から約60名の参加があった。

津山高専技術交流プラザの生駒会長の挨拶の後、西機電装株式会社取締役管理部長の白井義人氏より「失敗経験こそ最高の資産！～特許取得とDX支援ツールリリースを成し遂げたultra soul～」をテーマとした講演があった。

講演に続いて、オサカダツール株式会社より新入会員企業の挨拶、INPIT岡山県知財総合支援窓口の駒井浩介氏よりINPIT活用術の情報提供があり、非常に内容の濃い交流会となった。

産学交流会後の情報交換会では、活発な情報交換が行われ、盛況のうちに終了した。

○第2回FD研修会

2月17日（火）に、令和7年度第2回FD研修会を開催した。

今回は、先進教育賞受賞者講演が行われ、津山高専の先進教育各賞を受賞した5名の教職員により、先進教育に関する各分野での顕著な業績や活動についての説明や今後に向けた課題提示などがあり、教育の質的向上を図るための講演となった。

講演者

- | | | | |
|--------------|-----------|-----------|----------------|
| 1. 先進教育研究指導賞 | 先進科学系 | 谷口 圭輔 | 准教授 |
| 2. 先進教育出版賞 | 学生課 | エリック・ランボー | コーディネーター（国際交流） |
| 3. 先進教育支援貢献賞 | 電気電子システム系 | 西尾 公裕 | 教授 |
| 4. 先進教育支援貢献賞 | 情報システム系 | 渡邊 朝美 | 准教授 |
| 5. 先進教育支援貢献賞 | 技術部 | 瀬島 裕貴 | 技術専門職員 |

○入学説明会、入学手続き

3月1日（日）と3月19日（木）の2回にわたり、本科入学者選抜試験合格者を対象に、必要書類等の提出・物品購入等の入学手続きを行った。

また、3月19日(木)には、専攻科の入学手続も同時に実施した。
入学者の確定数は次のとおりである。(国費及び外国政府派遣留学生を除く)

本科1年生：総合理工学科 166名
専攻科：機械・制御システム工学専攻 5名
電子・情報システム工学専攻 13名

○タイ高専チューター研修

沖縄高専が主となり行う、来日前のタイ高専(KOSEN-KMUTT)学生へのチューターを津山高専の学生3名が務めており、当該学生が3月1日(日)～18日(水)に現地タイ高専で行われるチューター研修に参加した。

これまでタイ高専学生とチューターはオンラインで交流を行ってきたが、今回は対面により、日本語授業サポートや課題の取り組み等を行った。

また、タイ高専側のサポートにより、タイ国内の文化を体験し、親睦を深めた。

さらに、研修の一環として、日系企業のバイク部品メーカーにおいて部品の製造工程を見学し、海外で事業展開するグローバル企業で活躍する日本人から話を聞くなどし、研修は意義のあるものとなった。

○中国地区高専第33回コンピュータフェスティバル

3月7日(土)～8日(日)に、宇部高専主催で中国地区高等専門学校第33回コンピュータフェスティバルが開催され、システム研究部が参加した。

競技部門、ゲーム部門、アプリケーション部門、メディアコンテンツ部門があり、寒の戻りで厳しい寒さの中での開催となったが、対面型で実施され、大盛況の大会となった。

○寮生会活動報告会・北辰寮後援会役員会

3月8日(日)に、寮生会活動報告会及び北辰寮後援会役員会が行われた。

寮生会活動報告会では、寮生会の各委員会から寮務委員会及び北辰寮後援会へ今年度の活動や来年度の方針等が報告された。

また、会計担当からは、今年度の会計報告と来年度の予算案が提示された。

北辰寮後援会役員会では、決算・予算報告が行われ、北辰寮の運営等について話し合いがあった。

○卒業式・専攻科修了式

3月13日(金)に津山文化センターにおいて、令和7年度津山工業高等専門学校卒業式・専攻科修了式を挙行了した。

卒業生160名と専攻科修了生18名が、就職や進学などそれぞれの道へ決意を新たに踏み出した。

式典では、佐藤校長から、各系総代の学生に卒業証書が、専攻科総代の学生に修了証書が手渡されるとともに、はなむけの言葉が贈られた。続いて、津山市長と津山高専後援会長からご祝辞をいただき、来賓・保護者・教職員・在校生・同窓生が見守るなか、感動に包まれる式典となった。

また、在学中において学業が優秀であった者、課外活動に卓越した成果を収めた者その他研究成果が顕著であった者に対し、優秀賞(津山高専)、箕作賞(津山市)、弥生会賞(津山高専同窓会)、産学連携研究賞(津山高専技術プラザ)の各賞が授与された。

○第4ブロック留学生担当教職員会議

3月16日(月)に岡山市内において、令和7年度第4ブロック留学生担当教職員会議を開催した。

本会議は、全国の高専から学生支援ブロック拠点校として指定された5高専(八戸、茨城、富山、津山、北九州)及び留学生日本語教育拠点校として指定された沖縄高専が中心となり運営する、留学生支援拠点校ネットワーク業務の一環として、第4ブロック(中四国地区)の高専における留学生担当者が情報交換を行う会議となる。

会議では、津山高専校長および高専機構本部国際参事の挨拶により始まり、午前中には、津山高専から拠点校としての活動報告、第4ブロック内他高専からは、拠点校との連携活動についての報告が行わ

れた。

午後からは、今後の留学生受入の展開や質疑応答、留学生支援に関するディスカッションにより各校の情報交換が行われた。

○トビタテ！留学JAPAN新日本代表プログラム（イタリア）

2月28日（土）～3月23日（月）の約3週間、「トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム」で学生1名がイタリアに渡航し、イタリア・サルデーニャ島での研修を行った。

本プログラムは、学生自身が自由に留学内容、渡航先、期間を設計し、全国の多数の応募者の中から選抜された学生が官民協働によるオールジャパンの支援を受けて海外へ留学するプログラムであり、参加学生はイタリア・サルデーニャ島について、「なぜサルデーニャ島の住民は長寿なのか」という問いを立て、探究活動に取り組んだ。

滞在中は、カリアリ市内の語学学校でのイタリア語学習、国立考古学博物館など歴史的なスポットを訪れて島の文化的背景の調査等を行うとともに、空き時間には街頭インタビューを行い、100歳という高齢の住民からの話を聞く機会にも恵まれた。

研修中に学生は日本文化紹介にも積極的に取り組み、折り鶴や文房具、歌、日本語の表現などを紹介し、現地住民と交流を行った。

ホームステイ先では、家族との対話やサルデーニャの食文化などを通じてイタリアの生活価値観を深く理解し、時には政治や歴史に関する議論を交わし、日本との意識の差について考える機会となった。

○シンガポール科学技術研修

3月6日（金）～23日（月）の約2週間にかけて、シンガポールのニースアンポリテクニクにて科学技術研修を実施した。

本プログラムには、本校から12名、他高専から1名の計13名が参加した。

研修初日には、オリエンテーションを行い、それぞれの参加学生がシンガポール市内で設定された目標を達成するといった課題に取り組み、研修期間中は一般英語、物理学、Pythonによるプログラミングの授業に加え、今年度は新たに化学・生物の授業を受講し、最終日には研修のまとめとしてプレゼンテーションを行った。

研修中に参加学生は、多民族国家であるシンガポールの文化や生活様式について、授業からのみでなく、現地の学生チューターからも数多くの学びを得た。

○永進専門大学校語学研修

3月9日（月）～23日（月）の期間に、韓国永進専門大学にて語学研修が行われ、本校学生32名が参加した。

研修初日の10日（火）には開会式が行われ、研修期間に参加学生は韓国永進専門大学の英語村において実践的シチュエーションに応じた英会話学習、その他AIや美術に関する授業の受講、体育やディベートなど多岐にわたるアクティビティへの参加を行った。

また、週末には慶州を訪れ、寺院の訪問や買い物を通して韓国文化への理解を深め、最終日の修了式を終え23日（月）に帰国した。

○津山圏域工業会令和7年度奨学寄附金贈呈式

3月24日（火）に、津山商工会議所の津山圏域工業会令和7年度奨学寄附金贈呈式が開催された。

本校からは、佐藤校長が出席し、奨学寄附金の授与を受けた。

贈呈後の挨拶では、地域と共に発展してきた津山高専と津山圏域工業会との連携の重要性に触れ、これまでの支援への感謝と今後さらに関係を深めていく決意が述べられた。

○退職者に係る永年勤続者表彰式及び感謝状贈呈式、名誉教授称号記授与式

3月25日（水）に、令和7年度退職に係る永年勤続者表彰式及び感謝状贈呈式並びに名誉教授称号記授与式を執り行った。

野村健作教授、中村重之教授、藪木登教授の3名が出席され、永年勤続者表彰状、名誉教授称号記及

び記念品が授与された後、佐藤貴哉校長から祝辞があり、中村重之教授より謝辞があった。

○被表彰者（永年勤続者表彰）

野村 健作 教授
中村 重之 教授
薮木 登 教授

○被贈呈者（感謝状贈呈）

川村 純司 技術専門職員
久保田絢香 技術職員
菅田理恵子 事務補佐員

○被授与者（名誉教授称号記授与）

野村 健作 教授
中村 重之 教授
薮木 登 教授

○退任式・離任式

3月25日（水）に、令和7年度退職者及び転出者の退任式・離任式を執り行った。

退職者及び転出者の紹介の後、各人から挨拶をいただき、最後に感謝の意を込めて花束が贈呈された。

○科学研究費

職 名 高度情報専門人材育成事業推進室 特命教授
氏 名 中川 貴司
研 究 種 目 基盤研究（B） 25K01090
金 額 令和7年度配分額 611,650円
研究課題名 6000万年間連続する地磁気強度変化の復元に基づく固体地球進化解読

○受託研究

研 究 題 目 車載太陽電池モジュールにおける動的部分影が発電特性に及ぼす影響の解析
本校担当者 電気電子システム系 桶 真一郎
経 費 直接経費 350,000円 間接経費 105,000円
研 究 期 間 令和8年1月30日～令和8年3月31日

○共同研究

研 究 題 目 サーモクロミック顔料（ロイコ色素）の耐久性向上
本校担当者 先進科学系 廣木 一 亮
経 費 直接経費 300,000円 間接経費 90,000円
研 究 期 間 令和8年2月1日～令和9年3月31日

○寄附金

寄 附 者 北辰寮後援会長
寄附の目的 寮生の厚生福祉助成金（寺子屋）
寄附年月日 令和8年1月21日
寄 附 金 額 67,814円

寄 附 者	津山工業高等専門学校同窓会
寄附の目的	SNSを活用したコミュニケーション支援環境の構築事業の支援として
寄附年月日	令和8年3月3日
寄 附 金 額	200,000円
寄 附 者	津山圏域工業会
寄附の目的	津山工業高等専門学校における研究の奨励
寄附年月日	令和8年3月23日
寄 附 金 額	100,000円
寄 附 者	津山高専技術交流プラザ
寄附の目的	津山高専技術交流プラザ会員企業と津山工業高等専門学校との連携促進のため
寄附年月日	令和8年3月26日
寄 附 金 額	300,000円
寄 附 者	津山高専技術交流プラザ
寄附の目的	津山高専技術交流プラザ企業と津山工業高等専門学校との連携促進
寄附年月日	令和8年3月26日
寄 附 金 額	56,000円
寄 附 者	津山高専技術交流プラザ
寄附の目的	津山高専技術交流プラザ会員企業の地域共同テクノセンター利用促進のため
寄附年月日	令和8年3月26日
寄 附 金 額	474,750円

発 行	津山工業高等専門学校
発行年月日	令和8年4月30日